レンガの
製造・施工

町や家に上品さを与えるレンガを作っています

創宮 株式会社

創業：1965年　従業員数：37人

都城市山之口町山之口3388-1
TEL 0986-57-2172 ／ FAX 0986-57-2174
https://sougoo.co.jp

Web版はこちら

こんな仕事をしています。

山之口町で取れる天然の「粘土」を使って、建物の壁や歩道、花壇などで使われる「レンガ」や、屋根に取り付けて雨や熱から家を守る「瓦」を作る仕事をしています。

創宮ではたらく人にインタビュー

おもにレンガや瓦を焼く作業をしています。焼き物は、同じ時間と温度で作ったとしても、粘土の質や水分、天気なども関係するため、同じものを作ることができません。また、焼いている時は窯の中を見られないので、とても難しい作業ですが、それが焼き物作りの楽しさや、やりがいでもあります。

焼成担当 宮田祐輔さん

粘土をねって、レンガや瓦の形を作っていく作業をしています。粘土は水分量や厚さ、長さをしっかり調整して作らないとヒビが入りますし、天気や湿度などの環境も影響するので、とても難しいです。その分、自分の作った製品が使われた建物を見た時は、とても達成感があります。

成形担当 宮元一徳さん

レンガって何？ どんなところに使われているの？

レンガとは、粘土を固めて窯で焼いて作った建築材料のこと。通常、茶色で四角形のものが多く、家の壁や歩道、花壇などで使われています。私たちの作るレンガは、粘土に新燃岳の火山灰を混ぜて作るので強度が高く、100年以上使うことができます。

自分たちで作る「彫りレンガ」が小中学生に人気です！

彫りレンガとは、創宮が小中学生向けに作ったレンガのひとつです。レンガの作り方を楽しく学ぶことができ、とても喜ばれています。

彫りレンガが完成するまで

粘土に彫刻刀で絵を描いたり、字を書きます。

1か月後

レンガになった作品が創宮より届きます。

学校での学習だけでなく、記念事業やイベントでも活用されているんだね！

レンガのクイズ!! ～レンガが作られるまでを見てみよう！～

問題 粘土からレンガができあがるまで、何日間かかると思いますか？

①3日間　②1週間
③10日間　④1か月間

答えを探しにさっそく見てみよう！▶

①採掘

ショベルカーなどの重機を使って地面を掘り、レンガの元となる粘土を取り出します。

②粘土の配合

粘土に混ざったゴミを取り除いたあとに、火山灰を混ぜて、1週間～10日間ねかせます。

③成形

粘土を作りたいレンガの形や大きさに合わせて機械で切り、形を作っていきます。

④乾燥

粘土に含まれる水分を取り除くために、乾燥室に3週間ほどねかせます。

⑤中間検査・積載

この段階で、レンガがしっかり作られているかを検査し、合格したら次の作業に進みます。

⑥焼成

巨大な窯の中にレンガを入れてフタをし、1,000℃以上の火力で約5日間、じっくりと焼きます。

⑦窯出し

約5日後に窯を開け、ゆっくりと冷ましたらレンガの完成。レンガが冷めたら窯から運び出します。

⑧選別・梱包

レンガの大きさや色を確認して、問題がなかったらお客様のところに出荷していきます。

答え 粘土からレンガができあがるまでには、形を作ったり焼いたり、検査したりと、いろいろな作業があるから、約「1か月間」もかかるんだね！

こんな人に向いています♪　☑工作が好きな人　☑建物や庭づくりに興味のある人